

②本業支援・販路の開拓

海外販路を目指す被災事業者での統一ブランド 確立による海外販路開拓支援

(七十七銀行)

【概要】

震災による設備の損壊や風評被害等により、販路が断たれた被災事業者の、海外への販路開拓を政府補助施策や外部提携機関と連携し、支援した事例。

背景と経緯

東日本大震災で被災した石巻市の水産加工業者6社は、震災による設備の損壊や風評被害等により、売上が大幅に落ち込み、設備再建の目処が立った現在でも震災以前の売上を回復できない状況にある。

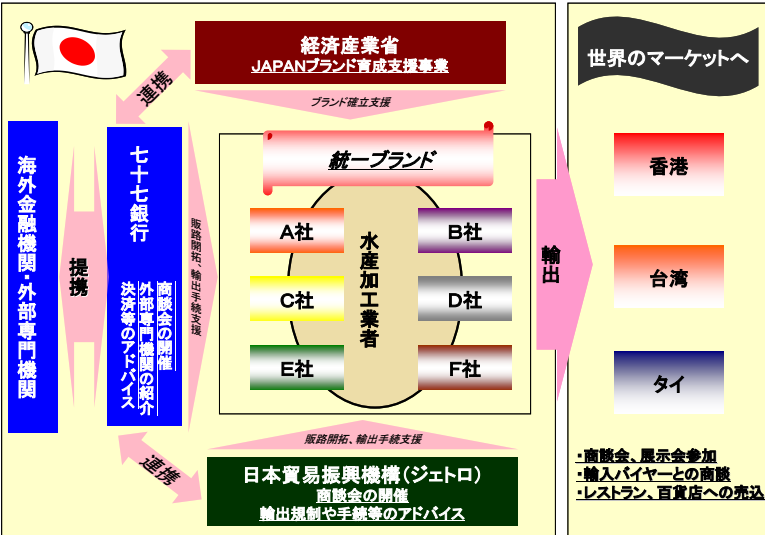
そのような中、海外に活路を見出そうとA社が同業5社に共同での事業展開を呼び掛け、統一ブランドを立ち上げるとともに、海外販路開拓を目指している。

当該6社は今までに海外輸出の経験はなく、販路開拓の方法や輸出手続き、決済の方法等、各段階での支援を必要としていた。

具体的な取組

当該統一ブランドは経済産業省の「JAPANブランド育成支援事業」に採択されブランド確立に向けた補助を受けているほか、日本貿易振興機構（ジェトロ）の重点支援事業に採択され、ビジネスマッチング商談会や海外展示会への参加支援等、販路開拓に向けた各種支援を受けている。

七十七銀行においても、主催、後援した商談会や食品輸出に関するセミナーへ参加頂き、販路開拓支援を継続しているほか、物流業者等、提携している外部専門機関の紹介、海外との決済方法のアドバイス等で支援を実施している。



香港での商談会

平成27年1月21日、22日
取引先9社
商談件数延べ75件

宮城県や香港貿易発展局の協力のもと香港にて食品関連の商談会を開催。各社に現地情報の提供や補助金活用提案を行い、1社が統一ブランドにて参加。海外バイヤーとのマッチング機会を提供。

取組の成果

当行が開催した商談会等で海外企業からの引き合いがあり、A社およびほか2社が香港、台湾等への輸出を開始。

決済リスクのヘッジ手法として貿易保険や信用状付決済等の情報提供を実施。信用状付の決済を行う際は、信用状接受から貿易書類の作成、資金決済に至るまで、専門部署がきめ細かに支援し、スムーズな輸出取引に貢献した。

継続的な販路を確立するなど、売上回復に向けた取組みが実を結びつつある。

○統一ブランドの主な取組み事例

取引先	取扱商品	輸出先
A社	ホタテ	台湾
B社	牛タンつくね	香港
C社	穴子、しめさば	台湾



写真1 商談の様子



写真2 香港の商談会

今後の課題

各段階でのきめ細かな支援により、販路開拓につながっているが、震災前の売上水準に戻るまで、継続的な取組が必要となる。

各社に海外販路開拓のノウハウが蓄積され、自立して取組ができるよう、人材の育成支援等、次の段階の支援を実施する必要がある。



Point | 支援実施のポイント／横展開にあたっての示唆

支援実施のポイント① 外部機関等と連携し切れ目ない支援を実施

支援実施のポイント② 専門部署による手続面等でのきめ細かな支援の実施